

東京農工大学 大学院農学研究院
応用生命化学部門 助教（テニュアトラック） 募集要項

1. 公募の概要

東京農工大学大学院農学研究院・農学部では、本研究院・農学部のテニュアトラック制度に基づき、任期5年の助教（テニュアトラック）を公募いたします。本制度は、若手研究者を任期付きで雇用し、将来に亘って活躍できる農学研究院・農学部の優れた教育職員として育成するものです。任期中に研究と教育を推進する経験を重ねた後に、教育職員としての適性について公正・厳格な審査を行い、本学准教授（講師を含む）のテニュア（任期の定めのない常時勤務を要する教育職員としての身分）を取得させることを目的としています。

採用された若手研究者は、原則として独立した研究室の使用が認められ、研究の立ち上げのスタートアップ資金（着任当初およびその翌年度にそれぞれ150万円を予定）やメンターの配置等の援助が受けられます。また学部授業および会議などの業務が常勤教育職員より一部軽減されます。大学院の担当については、別途資格を判定して認定されます。任期3年目と5年目にテニュア付与審査を実施し、テニュアトラック期間内に所定の業績を上げた場合と評価された場合は、任期の定めのない常勤の教育職員としての身分（テニュア）として本学の准教授または講師に採用する予定です。

なお、テニュア付与審査の方法と基準の概要については、下記別紙（「農学研究院テニュア付与審査方法・基準の概要」）を参照してください。

2. 募集職名 助教（テニュアトラック）（1名）

3. 所属先 農学研究院 応用生命化学部門

4. 兼務先 農学府農学専攻応用生命化学プログラム（大学院修士課程）
農学部応用生物科学科

5. 専門分野

生物化学教育研究分野

農学研究院応用生命化学部門においては、生理生化学に関連する分子機構の解析・制御・物質生産への応用等、および生体分子化学に関連する、生命機能分子の構造解析・合成・機能改変・有効利用等に関する研究・教育に取り組んでいます。本公募では、農学が担うべき重要な分野の一つである食品や関連する生体成分を対象とした教育研究について、生物化学的手法による解析、酵素・タンパク質等による分析・改変、またはこれらの応用に関する研究の遂行能力に優れ、大型機器・設備を用いた研究に実績があり、農学の諸分野との連携や人材育成に意欲をもって取り組んでいただける教員を公募します。

6. 応募資格

- ・博士の学位を有すること、
- ・熱意をもって大学院生・学部生に対する教育・研究指導を遂行できること。
- ・学内業務や社会貢献を積極的に担い、リーダーシップを発揮できること。
- ・国際的視野（英語活用能力）を有すること。
- ・国籍は問わない。ただし、日本語での授業が可能なこと。

7. 担当予定科目

学 部：生化学 I・II（分担）、物理化学（分担）、応用生物科学共通実験 I・II（分担）、
応用生物科学専門実験 I～VI（分担）、科学英語論文演習 I・II、卒業論文など
大学院：応用生命化学概論 II（分担）、生理生化学 II（分担）、国際応用生命化学 I（分担）、
農学特別研究 I・II、農学展開研究 I～IV、農学特別演習 I・II、論文レビュー特別演習 I・II など

8. 採用予定日

令和 7 年 7 月 1 日以降のなるべく早い時期

9. 勤務条件等

- 1) 給与 年俸制，経歴・職位・職務内容に応じて，本学の規程により決定（賞与および各種手当あり）
- 2) 勤務 裁量労働制（7 時間 45 分／日）
- 3) 勤務地 東京農工大学 府中キャンパス
- 4) 任期 あり（テニユア審査の結果により任期なしへ転換）

10. 提出書類

以下の提出書類を PDF ファイルとして書類提出先 E メールアドレスへ電子メールで提出してください(最大ファイル容量 20 MB)。ファイル容量が大きい場合は、メールを複数回に分けて送付してください。

- ①履歴書 本学指定の履歴書を使用する（または、本学指定の履歴書に準じ、写真を添付し住所・電話番号・E-mail アドレスを記載し、高校卒業以後の経歴を記載し、外為法に関する申告を明記すれば、書式はある程度自由でもよい）。

本学指定の履歴書様式は次の URL よりダウンロードしてください。

<https://www.tuat.ac.jp/outline/kyousyoku/kyouin/rirekisho.html>

- ②研究・教育業績リスト

以下の項目に分類して年代順に並べること。（a）～（c）は著者（発表者）名リストにある応募者にアンダーラインを付し、責任著者（発表者）に*を付すこと。

（a）原著論文

- (b) 総説、著書
 - (c) 国際学会発表（招待の有無を記載）、国内基調・招待・依頼講演
 - (d) 研究費獲得状況、特許、受賞
 - (e) 所属学会・役員、教育実績（担当授業科目等）、社会貢献活動などの特記事項
- ③主要業績の別刷り（PDF）（5 編以内）
 - ④③の各業績についての要旨（A4 用紙 1 枚以内）
 - ⑤これまでの研究成果の概要（図表を含め A4 用紙 2 枚以内）
 - ⑥着任後の研究計画の概要（図表を含め A4 用紙 2 枚以内）
 - ⑦教育実績および教育に関する抱負（A4 用紙 1 枚以内）
 - ⑧応募者に関する所見を伺える方 2 名についての情報（氏名、所属、連絡先電話番号、E-mail アドレスなど）（書式任意）

1 1. 書類提出

提出書類を PDF ファイルとして書類提出先 E-mail アドレスへ電子メールにて提出のこと

1 2. 応募締め切り

令和 7 年 3 月 7 日（金）正午 12 時 必着

1 3. 選考方法

書類選考後、面接を経て決定します。面接の際に要する費用等は応募者の負担となりますので、あらかじめご了承ください。また、書類審査および面接選考結果の通知を含めて、選考に関する連絡は原則、電子メールで行います。

1 4. 問い合わせ先・応募書類の提出先

〒183-8509 東京都府中市幸町 3-5-8 東京農工大学大学院農学研究院
応用生命化学部門助教（テニュアトラック）選考委員会委員長 殿塚隆史
E-mail: tonozuka<at>cc.tuat.ac.jp (<at>を@と置き換えてください)
電子メールのタイトルには教員公募書類という語句を入れてください。

※男女共同参画の積極的推進

東京農工大学は、男女共同参画を積極的に推進しています。

http://web.tuat.ac.jp/~dan-jo/danjo_new/index.html（別ウィンドウで開きます）

（詳細）東京農工大学男女共同参画推進室 HP

※応募に係る個人情報、個人情報保護法及び本学規程に基づいて適切な取扱いをいたします。応募の事実是非公開としますが、選考上必要な範囲において照会等を行うことがあります。

※東京農工大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、職員の採用に際し安全保障上の確認を行っており、確認に必要な情報の提供をお願いしています。審査の結果、規制事項に該当する場合は、希望する教育研究の変更を求める場合があります。また、経済産業省へ許可申請をした結果、不許可の通知があった場合は内定を取り消すことがあります。

農学研究院テニユア付与審査方法・基準の概要

1. テニユア付与審査は、テニユア付与審査委員会（以下「審査委員会」という）において行う。
2. テニユアトラック教員は、当該部門等と合議の上、着任後速やかに研究計画を審査委員会に提出する。
3. 採用後6ヶ月以内に審査委員会が、評価基準をテニユアトラック教員に通知する。
4. テニユアトラック教員のテニユア付与審査は、テニユアトラック期間中の3年目及び5年目に行う。
5. テニユア付与審査は、テニユアトラック期間中の実績、研究計画書、テニユアトラック教員による自己評価書、前歴の業績も含めた履歴および教育研究業績一覧、研究業績にかかる別刷り及び今後の抱負を含む成果発表（質疑を含む）を通じて実施する。
6. 前項の審議においては、テニユア付与審査委員会が承認した外部評価委員から書面等の方法により、当該テニユアトラック教員の本研究院・学部の審査対象職位のテニユア教員としての適格性についての評価意見を求めた上で、テニユア付与の適否を判定する。
7. 出産・育児休暇等による評価対象期間の短縮とそれに伴う評価基準の見直し及びテニユア付与審査時期の調整を行うことができる。
8. 審査結果への審査対象者本人からの一定期間内の異議申し立てを認める。